

科目等履修生高度プログラム

デジタル ヒューマニティーズ

An open book is the central focus, with its pages displaying text. A dynamic splash of blue water erupts from the book, spreading across the frame. The background is dark, and numerous mathematical symbols (like pi, infinity, and various numbers) and letters are scattered throughout, creating a digital and intellectual atmosphere.

令和8年度 出願要項

大阪大学大学院人文学研究科
言語文化学専攻

○概要

デジタルヒューマニティーズは、伝統的な人文学とデジタルとの有機的な結合により、人類知の取得、解釈、比較、参照、表現方法などの再構成に取り組む分野横断的な研究・教育領域です。それは、文字や紙媒体だけでは不可能な資料・史料の理解やテキストの読み、エビデンスの可視化、独創的なりサーチクエスションの創成を実現するとともに、方法論的共有地に基づく協働(interoperability & collaboration)などを通して、人文知の新地平を切り開く取り組みでもあります。

本プログラムは、デジタルヒューマニティーズの基礎から応用までをカバーするとともに、言語統計学、史的言語研究により客観的なデータ、信頼度の高いエビデンスに基づく研究のあり方を幅広く学修します。それにより、科学的再現性・検証可能性を担保することと文化の研究を追求します。そして、提供する講義とコースワークを通して、デジタル化した人文学的データを的確に分析考察し、ニーズに合致した情報の鉱脈を掘り当て活用する高度な「デジタルヒューマニティーズ・リテラシー」を修得することを到達目標としています。

なお、本プログラムは、学校教育法第105条に定められた履修証明制度に基づくプログラムに該当するため、本プログラムを受講し、本プログラムで定める所定の単位を修得したときは、大阪大学総長から修了認定証（履修証明書）が授与されます。

— 受講を希望される皆さまへ —

本プログラムを修了することにより、高度にデジタル化しつつある社会が産出する大規模なデータやテキストからニーズに合致した有用な情報や人文知を掘り起こし活用するスキルおよびデジタルリテラシーを身につけることが可能となります。

他の大学院や研究機関に在籍する研究者や学生の方、あるいは企業等に勤める方で人文学データ・テキストを新たな角度から読み直したいと思う方、将来、大阪大学大学院人文学研究科に入学し、デジタルヒューマニティーズ関連の分野を専攻しようと思っている方、デジタルヒューマニティーズに関心がある方の受講を大いに歓迎します。

プログラム実施責任者 田畑 智司（人文学研究科言語文化学専攻教授）

1. 募集人員

若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学または専門職大学を卒業した者及び令和8年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 本研究科において、出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【出願資格審査】

上記の出願資格(2)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行う必要があります。該当する場合は「6. 出願手続」に記載するア)、エ)、オ)の書類のほか、自己の学力を示す証明書や資料等がある場合にはその資料を令和8年1月13日(火)～1月15日(木)までに豊中事務部学務係へ郵送または持参してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「科目等履修生高度プログラム出願資格事前審査書類在中」と朱書きし、簡易書留により郵送してください。また、上記期間内必着としますので、配達事情をあらかじめ確認・考慮のうえ郵送してください。

審査の結果は、令和8年2月5日(木)までにメールでお知らせします。

審査の結果、出願資格を有していると認められた場合は、出願書類を受理しますので、出願書類受理期間内にア)、エ)、オ)以外の他の出願書類を提出してください。

3. 入学時期及び履修期間

本プログラムの入学時期は年度の始めとなります。また、本プログラムの履修期間は最大2年です。本プログラム履修生（科目等履修生）として、入学を許可された者は、2年以内に本プログラムの修了を目指してください。

なお、2年以内に本プログラムを修了することができなかった場合において、引き続き、本プログラムの受講を希望するときは、改めて本プログラムに出願する必要があります。

4. プログラム修了要件及び構成科目

本プログラムの修了要件及び構成科目は別紙のとおりです。

5. 履修科目及び単位の付与

本プログラムの構成科目から履修する科目を選択します。ただし、履修を希望しても人数制限により履修が認められないことがあるため、履修できる科目は、あらかじめ履修を許可された科目のみとなります。

なお、履修した科目について、所定の成績を修めて合格したときは、当該科目の単位が付与されます。

6. 出願手続

本プログラムに出願しようとするときは、豊中事務部学務係に下記の出願書類等を郵送または持参してください。

なお、郵送の場合は、封筒に「科目等履修生高度プログラム入学願書在中」と朱書きし、簡易書留により郵送してください。また、下記出願書類受理期間内必着としますので、配達事情をあらかじめ確認・考慮のうえ郵送してください。

【出願書類受理期間】

令和8年2月10日（火）～2月12日（木）【必着】

ただし、持参の場合は11日（水・祝日）を除きます。

（持参の場合の受付時間 9時～11時30分、13時～16時）

【出願書類等】

ア) 入学願書（本専攻所定様式・写真添付）

イ) 出願理由書（本専攻所定様式）

ウ) 履修希望科目調書（本専攻所定様式）

※令和8年度に履修を希望する科目のすべてを記入してください。

エ) 最終出身学校の卒業または修了（見込）証明書

オ) 最終出身学校の成績証明書

カ) 外国語能力に関する検定試験の成績証明書等を所持している場合はその証明書（写）

※履修希望科目に応じて任意とします。なお、英語に限りません。

※選考時の参考資料としますが、未所持の場合は提出する必要はありません。

（例）TOEFL、IELTS、TOEIC など

キ) 検定料納入証明書

次のとおり検定料を納入してください。

①検 定 料 9,800円

②振込期間 令和8年2月2日（月）～2月12日（木）

③振込方法 本専攻所定の振込依頼書の※欄に、志願者本人の住所・氏名及び電話番号を記入のうえ、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の受付窓口で上記①の検定料を振り込んでください。なお、ATMは不可です。必ず受付窓口で振り込んでください。

④振込手数料は志願者の負担とします。

⑤検定料納入証明書を「検定料納入証明書貼付用紙」に貼付し提出してください。

ク) このほか、必要な場合は、出願後に追加資料の提出を求められることがあります。

7. 選考方法

本プログラムの受講及び構成科目の履修に必要な学力について、提出された出願書類に基づき書類選考を行います。

なお、本プログラムが必要と判断したときは、専門的知識等の学力確認を含む個人面接をオンライン等により実施することがあります。個人面接を実施する場合はメールでお知らせします。

8. 合格者発表及び入学手続

選考の結果及び履修を許可する科目については、令和8年3月12日（木）にメールでお知らせします。3月13日（金）16時になっても通知が届かない場合は連絡願います。

なお、選考の結果、本プログラム履修生（科目等履修生）として合格した場合における入学手続に関しては、選考の結果とともにメールで案内します。

入学手続期間（予定） 3月13日（金）～17日（火）

9. 入学料及び授業料の額

入学料 28,200円

授業料 1単位 14,400円

10. 個人情報の取扱いについて

- （1）出願時に提出された氏名、住所、その他個人情報は、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、合格者については、「入学料収納」等に関する業務を行うためにも利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、履修指導等）」、「学生支援関係（健康管理等）」及び「授業料収納」等に関する業務を行うためにも利用します。
- （2）入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用することがあります。
- （3）上記（1）及び（2）の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または一部を提供します。

11. 注意事項

- （1）出願書類に記載した事項について、出願手続後の変更は認めません。ただし、本人連絡先及び緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに豊中事務部学務係へ連絡してください。
- （2）既納の検定料は次の場合を除き返還しません。
 - ①出願したが出願資格がなかった場合
 - ②出願書類受理期限後に出願書類が本専攻に到着した場合
 - ③出願書類に不備があり受付できなかった場合
 - ④検定料を振り込んだが本プログラムに出願しなかった場合
 - ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- （3）出願書類に虚偽が判明したときは、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- （4）本プログラムの受講により留学ビザを申請・取得することはできません。
- （5）外国人学生は、短期滞在ビザ以外の在留資格を有し、本プログラムを受講し終えるまで当該在留資格による在留が可能な場合に限り、本プログラムに出願することかできます。
- （6）本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない等の制限がかかる場合がありますのでご留意ください。詳細は、大阪大学ホームページを確認してください。
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline
- （7）履修を許可された科目は、原則として変更できません。
- （8）本プログラムの構成科目の授業時間割等（開講・不開講、開講曜日時限など）は、年度ご

- とに変更される可能性があります。また、急きょ変更されることがあります。
- (9) 本プログラムの履修期間にかかわらず、本学の科目等履修生として身分が付与される期間は、履修が許可された科目の開講期間となります。したがって、本プログラムの履修期間中に科目を履修しない期間がある場合、当該期間は本学の科目等履修生の身分はありません。
 - (10) 本プログラム履修生（科目等履修生）は、通学定期乗車券及び「学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）」を利用することはできません。
 - (11) 本学図書館の利用については、本学図書館のホームページを参照してください。
<https://www.library.osaka-u.ac.jp>
 - (12) 本プログラム履修生（科目等履修生）入学2年目における本プログラム構成科目の履修意思の確認及び履修を希望する科目の履修許可に係る手続については、入学1年目の12月末までに個別連絡を行います。なお、入学2年目の科目の履修にあたっては、検定料、入学料の納入は必要ありません。
 - (13) 2年以内に本プログラムを修了することができず、改めて本プログラムに出願のうえ受講を許可された場合において、既に修得した本プログラムの構成科目の単位については、審査を経て認められれば、本プログラムの修了単位に加えることができます。
 - (14) 本学大学院人文学研究科博士前期課程に入学した場合において、既に修得した本プログラムの構成科目の単位については、審査を経て認められれば、大学院の修了単位として認定されることがあります。
 - (15) この出願要項は本プログラム専用です。本学大学院人文学研究科が開講する個別の科目の履修を対象とした一般の科目等履修生の出願については、専攻ごとに出願要項が作成・公表されていますので、その要項を参照してください。
 - (16) その他不明な点がある場合は豊中事務部学務係へ問い合わせてください。

○連絡先

担当係	大阪大学人文学研究科豊中事務部学務係（人文学研究科言語文化棟B棟1階）		
所在地	〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-8		
電話	06-6850-5856（直通）		
E-mail	jinbun-gakumu@office.osaka-u.ac.jp		
交通	[電車]	阪急電車宝塚線石橋阪大前駅下車	徒歩約15分
	[モノレール]	大阪モノレール柴原阪大前駅下車	徒歩約15分
ホームページ	人文学研究科言語文化学専攻 https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/		

プログラム修了要件

以下のプログラム構成科目から、8単位以上を修得すること。ただし、デジタルヒューマニティーズ基礎、デジタルヒューマニティーズ演習、人文学とデジタル技術、デジタルヒューマニティーズAまたはB、から4単位以上を含めること。

プログラム構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講研究科・開講課程	開講 キャンパス
		必修	選 必	選 択			
450201	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
450202	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	箕面
450203	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
450204	デジタルヒューマニティーズ基礎		2		秋～冬学期 令和8年度不開講	人文学研究科博士前期課程	箕面
450233	デジタルヒューマニティーズ演習		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
450241	人文学とデジタル技術		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	オンデマンド
450242	人文学とデジタル技術		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	オンデマンド
452111	デジタルヒューマニティーズA (テキスト分析論)		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452112	デジタルヒューマニティーズB (テキスト分析論)		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452113	デジタルヒューマニティーズA (言語処理と情報検索)		2		春～夏学期 令和8年度不開講	人文学研究科博士前期課程	豊中
452114	デジタルヒューマニティーズB (言語処理と情報検索)		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452115	デジタルヒューマニティーズA (データ解析)		2		春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452116	デジタルヒューマニティーズB (データ解析)		2		秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452109	言語統計学A			2	春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452110	言語統計学B			2	秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452105	史的言語研究A			2	春～夏学期	人文学研究科博士前期課程	豊中
452106	史的言語研究B			2	秋～冬学期	人文学研究科博士前期課程	豊中

注1) デジタルヒューマニティーズ基礎(時間割コード 450201～450204)は同一授業内容です。いずれかのクラスを選択する必要があります。

注2) 人文学とデジタル技術(時間割コード 450241・450242)は同一授業内容です。いずれかのクラスを選択する必要があります。

注3) 人文学研究科の科目の授業開講期間及び開講曜日時限等は、令和8年2月初旬までに人文学研究科言語文化学専攻ホームページで公表する予定の令和8年度学年暦、令和8年度時間割表を参照してください。なお、上記の授業科目は、この出願要項公表時点において開講予定ですが、急きょ諸事情により、不開講となることがあります。

○言語文化学専攻ホームページ(学年暦・時間割等) <https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/student/calendar.html>

注4) 人文学研究科の科目の授業内容は、言語文化学専攻ホームページもしくは大阪大学のシラバス検索ページを参照してください。なお、令和8年度開講科目のシラバスは、2月上旬中頃に公開を予定していますが、シラバスの整備状況によっては出願期限までの公開を保証することができません。そのため、もし、出願期限までにシラバスが公開されていない場合には、令和7年度開講科目のシラバスを参考としてください。授業の目的と概要は令和7年度開講科目のシラバスから大きく変更されることはありません。

○言語文化学専攻ホームページ(シラバス) <https://lc.hmt.osaka-u.ac.jp/education/syllabus.html>

○大阪大学シラバス検索ページ https://koan.osaka-u.ac.jp/syllabus_ex/campus